

代表者名	押切 光敏	所管部課名	建設交通部港湾空港課
所在地	秋田市飯島字堀川 118	設立年月日	平成 6 年 1 1 月 1日

【沿革、及び、県の出資理由】

秋田・男鹿・本荘の各マリーナの管理運営のため、県等の出資により平成6年11月に設立された。

【出資者】(15年度当初)

(百万円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	13	26.0
市町村	3	12	24.0
その他	9	25	50.0
計	13	50	100.0

【事業】

主たる業務

- (1) マリーナの管理運營業務の受託
- (2) 船舶用燃料、マリーン用品の販売
- (3) 船舶修理業
- (4) イベント、会議等の企画運營業務他

事業実績

(隻)

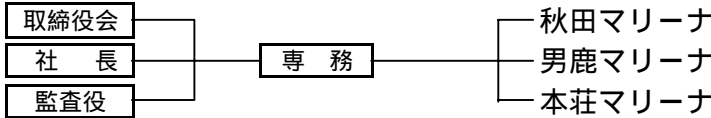
事業名等	12年度	13年度	14年度
入艇数	418	437	442

14年度事業概要、及び、15年度事業計画・目標

国内景気低迷の影響で艇維持費捻出困難の理由から退出艇が大幅に増加、今年度末の増加数は近年で最も少ない5隻増で終わり売上高は11,079万円で前年比98.3%、当期利益197万円で前年比47%となり、最終的に前期に対し減収減益の決算となる。
 1：経営改善目標 経常利益の確保(1,047千円)・自主事業売上の増加(38,731千円)
 2：事業成果目標 事業量の確保(保管隻数 440隻)・利用稼働回数の増加(出港数 8,100回)

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県OB		
非常勤	8	1
内、県OB	1	
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	2	

職員数

(人)

	人数	正職員平均年齢
正職員	5	35 歳
内、県OB		
出向職員	1	
内、県職員		
臨時・嘱託	13	正職員平均勤続年数
内、県OB	1	
計	19	6.5 年
内、県関係者	1	

【財務】

損益状況(14年度)

(百万円)

	金額
経常収入 A	112
受託事業収入	72
補助金収入	
自主事業収入	38
運用益収入	
その他	2
経常支出 B	109
人件費	63
その他	46
経常損益 C = A - B	3
経常外収入	1
経常外支出	2
当期損益	2

財務状況(14年度末)

(百万円、%)

	金額	構成比
流動資産	107	78.1
固定資産	30	21.9
資産計	137	100.0
流動負債	68	49.6
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
引当金等		
負債計	68	49.6
資本金	50	36.5
剰余金	19	13.9
資本計	69	50.4
負債・資本計	137	100.0

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

(千円、%)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	1,111	889	80.0%

【県の財政支出】

(千円)

	12年度	13年度	14年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	72,882	72,795	72,988	秋田県から委託されたマリーナの管理運營業務の受託
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	12年度	13年度	14年度	12-13増減	13-14増減
健全性	自己資本比率	%	52.86	49.45	50.45	3.41	1.00
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	158.94	157.31	160.10	1.63	2.79
収益性	剰余金(欠損金)	千円	12,983	17,237	19,211	4,254	1,974
	経常利益率	%	4.80	4.63	3.01	0.17	1.62
	総資本利益率	%	4.63	3.91	2.48	0.73	1.43
発展性	経常収入額	千円	114,932	114,715	112,950	217	1,765
効率性	総資本回転率		0.96	0.84	0.82	0.12	0.02
	職員1人当たり経常収入	千円	6,049	6,038	5,945	11	93
	人件費比率	%	51.87	52.32	55.88	0.46	3.56

2 経営目標の達成状況

経営目標			12年度	13年度	14年度	15年度
経営改善指標	経常利益の確保(千円)	目標			2,996	1,047
		実績	5,521	5,313	3,398	
自主事業売上	自主事業売上の増加(千円)	目標			40,437	38,731
		実績	39,284	39,865	37,803	
事業成果指標	入艇数(隻)	目標			439	440
		実績	418	437	442	
出艇回数(回)	目標			7,919	8,100	
	実績	7,924	8,433	8,009		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

国内景気低迷の影響で、艇維持費捻出困難の理由からか、大型艇を含む退出艇が大幅に増加し、今度未保管隻数の増加は最近として最も少ない5隻増となっています。今期における売上は110,791千円(前年比98.3%)で、うち県委託料72,988千円、自主事業売上高は37,803千円となり、経常利益は3,398千円で計画比134%となり経営計画を上回りましたが、当期利益は1,973千円の結果となり前期に対し減収減益の決算となりました。

・会社が対処すべき課題として

- 1・経営安定化のため放置艇を含む契約艇等、事業量の確保と自主事業領域の拡大を図る。
- 2・お客様への利便性向上と満足度向上のための施策の展開を図る。

4 総合評価

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
天候不順等厳しい経営環境の中、黒字経営を維持していることは評価できる。 利用客満足度の向上及び自主事業の拡大をより一層図る必要がある。	